

歯の相談室



あじま診療所歯科 歯科医師
右近 快平

歯周病と妊娠

近年、さまざまな歯周病の全身への関与がわかってきました。

なかでも妊娠している女性が歯周病に罹患※りかんしている場合、低体重児および早産の危険度が高くなることが指摘されています。

これは口の中の歯周病細菌が血中に入り、胎盤を通して胎児に直接感染するのではないかといられています。その危険率は実に7倍にもものぼるといわれ、タバコやアルコール、高齢出産などよりもはるかに高い数字なのです。

歯周病は治療可能なだけでなく、予防も十分可能な疾患です。

生まれてくる元気な赤ちゃんのため、確実な歯周病予防を行いましょう。



※罹患…病気にかかること